



竹松ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和5年4月28日
大村市立竹松小学校
発行 石司 貴弘

日一日の学び

～ お友達とかかわり、互いに磨きあう ～

入学式から2週間が過ぎました。新しい環境に戸惑いながらも、小さな体で懸命にがんばる1年生の健気さにこちらが教えられる思いがいたします。

朝の登校風景をご覧ください。きょうだいの上の子や近所の上級生が1年生に付き添います。「白い線の内側を歩くんだよ。」命を守るために大切なことを教えています。何と美しい光景なのだろうと、見ていて胸が熱くなります。こうやって、自分が大切にされていることを実感した1年生は、きっと周りの人を大切にできる人になると確信します。

教室での学習風景です。

☆担任と一緒に道具（教科書やノート、筆記用具等）の使い方を確かめます。

☆担任やお友達の話に耳を傾けます。このことで、何を学習するのか、見通しをもちます。

☆やるのがわかると、自分の力で挑戦します。

☆わかったこと・がんばったことを伝えあい、学習したことの確かめをします。

これらを繰り返しながら学ぶ楽しさを実感していきます。

給食や掃除、係の仕事も集団生活の中で大切な役割です。きつい仕事もあれば、めんどろな仕事もあります。しかし、互いに分担したり交代したりしながら行うことで、みんなが幸せに生活することができます。大変なこともあるのですが、役割を果たすことが周りの人の役に立つということを学んでいきます。担任は、「あなたのおかげできれいになりました。ありがとう。」と、一人一人の子どもの行いに価値付けをしていきます。やりがいや自己有用感を抱いた子どもは、「人から仕事をやらされる」のではなく、「人のために進んで動く」ようになっていきます。

学校では、教科等の学習に加えて、社会を生き抜いていくために大切なことを学んでいるのです。ポイントは「人とのかかわり」です。1年生だけでなく、学年の初めは新しい学級に

馴染むまでに時間がかかるケースもあります。ご家庭においても、お子さんを励ましたり、がんばっていることを適切に称讚したりしていただければ幸いです。よろしくお祈りします。



学びの3つのかまえ(構え)

竹松小学校では、明るく元気いっぱいの声が響く休み時間と、課題に真剣に取り組む静かな学習時間とのメリハリが素晴らしいと感じています。

さて、学習のゴールは、様々な活動を通して「知る」「わかる」「できる」ようになることです。最後にそのゴールに到着するためには、スタートが大切だと思うのです。竹松小学校では、学習のスタート「**学びの3つのかまえ**」を大事にしています。

モノがまえ



教科書やノート、筆記用具などの学習を進めるために必要な道具をそろえることです。道具がなければよい仕事はできませんね。

竹松小学校では折にふれて筆箱点検を行い、子どもたちに「道具をそろえる・大切に使う」意識を育てています。

「明日は〇〇の学習があるな。今日のうちに準備しておこう。」仕事の見通しをもち、必要な道具や材料を整える習慣は社会に出てからも必要となります。保護者の方からもお声かけも、良い習慣を身に付けさせるうえで大きな支えになります。

身(み)がまえ



何をするにしても体の調子を整えることは基本です。学習を始める前には、必要に応じて…

- ☆トイレをすませる
 - ☆水(お茶)を飲む
 - ☆汗をふいて整える
- などの体の準備をします。

もちろん、家庭での過ごし方も関わります。「早寝早起き朝ごはん」と言われるように、休養や栄養を適切にとることも習慣づけていきたいものです。

「元気があれば、できることがたくさんある!」自分で体調を整える力を身に付けさせたいものです。

心(こころ)がまえ



「今日もがんばるぞ!」
「昨日の続きを早くやりたいな」
学習に対して前向きな気持ちになると、「やらされる学習」ではなく、「進んで行う学習」になります。

では、どうすれば子どもがそんな心持ちになるのでしょうか?私は「大人の声かけ」が大きな意味を持つと思うのです。どんな声かけでしょう?

- ☆「よくがんばりましたね。」
- ☆「〇〇ができるようになったね。すばらしいですよ。」
- ☆「今度は〇〇に挑戦してみようね。」

このような励ましや称賛の声が子どもの自信ややる気につながるものと思います。

学力は、子どもたちが「生涯を自分らしく生き抜く力」の一つです。一日一日、一時間一時間の学習が意義あるものになるよう、励ましてまいりたいと思うのです。保護者の皆様も教職員と連携していただき、お力添えをいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。